

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 **こころ**

公表日 **令和8年2月28日**

回収率 **100%**

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・個別対応が必要な児童に対して支援員が1人つく等、対応をしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・ここいるは、先生の部屋と子どもが過ごす部屋が分かれていたり、体を動かす部屋と机上遊び、制作遊び等を行う部屋が分かれていたりするなど、場面に合わせた部屋づくりがされている。 ・活動するときは、カーテンやマジックテープの仕切りなどを使って視覚的にもおちゃが見えない状態にし、子どもが集中しやすい環境にしている。 ・ぞうの部屋の倉庫が3枚扉になっており、指を挟みやすいなど、ケガにつながる恐れがある。	・利用児に危険な箇所が無い確認をしてリストアップし、スタッフに周知をして注意喚起を行う。また、リスクがある箇所には、緩衝材を取り付けるなどの怪我防止のための措置をおこなう。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・子どもが勉強をする時や体を動かしたい時などに、要望に合わせた環境を設定するために部屋を変更することがある。支援員も子どもの考えを尊重し動いている。	・利用児の行動の背景を評価していき、ひとりひとりに合わせた環境調整や合理的配慮を行っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・定期的に訪問とデイのスタッフで子どもの様子や課題に対する評価等を話し合い、より良い支援について考える機会がある。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・デイの前後でスタッフ同士で話し合いが行われている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		必要に応じて、第三者による外部評価を実施するか検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・職員が希望した研修に対して補助を出して受講の機会を設けたり、月に1回職場内で勉強会を行い、様々な知識を学ぶ機会が設けられている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援会議を開き、子どもの様子について情報共有をした上で計画が作成されている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎月デイ会議を行い、どの経験が積めると良いか、どの能力を伸ばしたいか話し合いながら活動を決めている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・集団活動の中で、状況に合わせてベアの活動にするなど、工夫をしながら行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・その日の記録を書く際に、職員同士で子どもの行動についてどのような意図があったか、どういう困り感があったのか等、意見を出し合いながら記入している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・訪問とデイでのそれぞれの様子を確認したり、事前に子どもの情報や様子を確認した職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	4	3		訪問支援での連携はあるが、地域の中で他の子どもと活動する機会は少なかった。園と連携をとりながら、必要に合わせて活動できる機会を提供していけるように検討をしている。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・個別に対応はしているが、プログラム化されたような支援は行われていないと思う。	ペアレントトレーニングを実施できるスタッフがいない。そのため、ペアレントトレーニングを実施できるスタッフの育成、研修への参加を促していく。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・定期的に面談の機会を設けている。また、来所時やお迎え時に子どもの最近の様子について情報共有を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		アンケート等、利用者様の意見を参考にしながら、必要に応じて実施を検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		外部に開かれた事業所の行事は行っていない。地域の行事にスタッフ等が参加をするなど、事業の中でできる範囲で地域参加へと貢献をしていく。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・事前に保護者の方から伝えられたことは把握できているが、新しく服薬を更新されている状況の際にこちらが把握できていなかったケースがある。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	食物アレルギーのある利用児には、別途、アレルギーの対応についての用紙を記入していただき、スタッフに周知、事務所の見える位置に掲示をしている。	スタッフへの周知を徹底していく。(回覧のチェックリスト等を活用する)
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0		

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここいる		
○保護者等評価実施期間	令和7年10月22日	～	令和7年12月31日
○保護者等評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年10月22日	～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている。	デイの前後、スタッフ同士で話し合いが行われている。また、定期的なデイの会議やスタッフの会議を実施して、情報を共有している。	若手スタッフも意見を積極的に伝えやすくなる雰囲気づくりや、会議の進行、意見交換の機会を積極的に作っていくなどの工夫を行っていく。
2	活動プログラムが固定化しないように工夫をしている。	毎月デイ会議を行い、どの経験が積めると良いか、どの能力を伸ばしたいか、話し合いながら活動を決めている。	引き続き、活動が固定化しないように工夫をしていくが、活動内容や求める支援によっては、活動に連続性を求めるなど、お子さんにとって最適な活動になるように、活動を検討していく。
3	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などをスタッフ間で共有している。	その日の記録を書く際に、職員同士で子どもの行動についてどのような意図があったか、どういう困り感があったのか等、意見を出し合いながら記入している。	打ち合わせや話し合いだけでなく、必要に合わせて積極的なケースカンファレンスに繋げるなど、支援の質を高めていく工夫を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が行えていない。	外部に開かれた事業所の行事を行えていない。事業として、地域に開かれた会を開催する人員がやや少ない。	地域の行事にスタッフ等が参加をするなど、事業の中でできる範囲で、地域参加へと貢献をしていく。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	保育所等訪問支援で職員での交流や連携はあるが、こども達が関わる機会は無かった。支援の時間内では交流をする機会を確保することが困難であった。	今年度は活動の機会は無かったが、地域でこどもと活動する機会を作ったり、地域のお祭りや行事に参加をするなどの機会が設定できるように検討をしていく。
3	家族等が参加できる研修会や情報提供、交流会等の機会が無かった。	研修会等を実施する機会を作ることができなかった。	来年度は、スタッフ主催の保護者向けの研修等を実施できるように、時間や場所、研修方法などを検討していく。